

# 12月7日(金) 意見交換会(餅つき)

英会話教育を支援する米国人講師らとの意見交換の一環として、在日米海軍横須賀基地司令オーウェン大佐をはじめ、米海軍関係者及び米国人講師家族を招き、昭和37年以来継続されている恒例の餅つきを実施した。2術校側は、昨年は主要幹部及び外語教官・学生のみでの参加であったが、今回は全職員が参加した。

行事は、伊藤校長の挨拶、在日米海軍司令部情報部長ダリン大佐の挨拶、米国人講師代表レッカー夫人の挨拶の順に始まった。伊藤校長は、米国人講師及びATG教官による英語教育支援並びに米海軍関係者からの多大な協力に対し謝辞を述べた。

その後ステージ上で、法被姿の来賓代表による鏡割りが行われ、2術校職員による餅つきの展示に続き、米海軍参加者も次々と餅つきに参加した。米海軍参加者は、観客の「よいしょ、よいしょ。」という掛け声に合わせ、慣れない手つきで初めての餅つきを体験した。

引き続き、書道部による体験書道、茶道部によるお茶会が催され、多くの米海軍参加者がこれらのイベントに参加した。また、会場には、お面や独楽、凧といった日本独自の玩具が多数展示された。米海軍参加者は、このようなイベントや展示を通じて日本の伝統文化を体験・体感するとともに、2術校職員との親睦を深めた。

最後に英語学生による獅子舞が披露され、元気よく踊り次々と観客にかぶりつく獅子は、特に子供たちに人気を博し、多くの観客とともに記念撮影に収まった。米海軍参加者は、2術校職員及び学生による心からのもてなしを受け、意見交換会は盛況のうちに閉会した。

